

## 「2019 JTの森 積丹 森林保全活動」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 札幌水源林整備事務所

日 時	令和元年6月22日（土）
場 所	北海道積丹郡積丹町大字余別町（積丹町有林 JTの森-余別川流域エリア）
開催者	JTの森積丹森づくり促進協議会 （積丹町・後志総合振興局・日本たばこ産業株式会社（JT））

この活動は積丹町・後志総合振興局・「JT」の3者による「ほっかいどう企業の森林づくり協定」に基づき、「海を育む水源の森づくり」の森林整備事業の一環として、平成23年より毎年開催されており、今回が17回目になります。

森林整備センター札幌水源林整備事務所は積丹町、石狩森林管理署と「積丹地域森林整備推進協定」を締結していることから、石狩管理署職員と共に、この活動を応援し、参加をしています。



雨の中の記念撮影

今年の参加者数は例年並みで、一般の方々70名以上の参加がありました。

今までの活動は、午前中が造林木の保育施業の体験でしたが、今年は趣向を変えて、森林の価値を数字的に把握してもらうための毎木調査による収穫調査や樹名板の作成、遊歩道にチップ材を敷き均す遊歩道整備などを体験していただきました。

収穫調査は輪尺、バーテックス、測幹を用いて参加者に計測してもらい、その結果を石狩森林管理署の職員が集計し、全立木材積、見込み販売金額などを参加者の方々にお伝えしました。

当日は午前中の降水確率60%に打ち勝ち、爽やかな天候で作業を行い、昼食は例年のとおり積丹町観光協会の方々が作ってくださった「シーフードカレー」を堪能しました。

午後は森林に親しんでもらうレクリエーションの時間でしたが、さすがに降水確率80%には勝てず、ゲームの最中に雨に打たれての撤収となりました。

最後は雨の中の記念撮影となりましたが、参加者の皆さんはそれぞれ笑顔で帰路につきました。

来年は天候に恵まれますように。



集合場所へ戻る（「<sup>ふき</sup>路の葉の下の人」という意味のアイヌの伝承に登場する小人コロポックルを思わせる）小学生